

ふれあいのネットワーク



# ななせ

南郷学区社会福祉協議会だより

NO.104・105合併号 平成30年12月20日発行 南郷学区社会福祉協議会広報部  
『つながっていく明日へ、笑顔が見える町づくり』を合い言葉に



滋賀の若者が、この夏、時代の節目を刻みました。夏の高校野球選手権大会は、今年100回目を迎えました。この記念大会で開会宣言という大役を務めたのが、なんと近江高校の主将中尾君です。「ここ甲子園の舞台でプレーされた偉大な先輩方を誇りに思い、私たちは今100回目の甲子園を迎えようとしています。」結びは「記念すべき年に野球ができることに感謝し、多くの人々に笑顔と感動を与えられる、最も熱い、本気の夏にすることを誓います。」

● 私たちの町南郷も、ことし、一つの節目を迎えました。

南郷学区として生まれて、まちは35周年になりました。高齢化、成熟化の道をたどるなかで、いままでを感謝とともにふり返り、そして、次代を見つめるキツカケとして、学区でも、さる11月18日、まちをつくってこられた功労者をたたえる表彰式、越市長の記念講演、次世代の声で未来を奏でる音楽会を催した記念式典が、たくさんの方の参加者のもと実施されました。

## ことし一年、

### あなたにとって、

## どんな年でしたか

● こうした節目に立つと、あらためて、甲子園の若者の言葉がよみがえってきます。折りしも、全国大会の直前、岡山県南部や広島県呉線沿岸一帯に未曾有の豪雨災害が発生し、甲子園を目指していた球児も何人かが巻き添えになって夢を断念せざるをえなかった報道が全国に流れました。野球が大好き、「ここまで多くの人にささえられて野球ができる喜び、そんな彼なりの気持ちと今が伝わった、実にさわやかな宣誓のなかで、短くてあなたたかな災害禍を思いやる言葉もつづられていました。支え・ささえあうってどんなことだろう。そんなことを、私たち大人に、さりげなく語りかけてくれているようでした。

● まさに節目は時の贈り物、ではないでしょうか。

「まち(つくり)には、ひとの目線にたち、寄り添って考えることが大切」を、若者とまちが運んでくれました。

南郷学区社会福祉協議会会長 橋本紀宣



平成30年度活動



- 毎月1回：定例役員会議(原則：第一木曜日)
- 年4回：地域づくり会議(自治連、民児協、社協、老く連、南あんしん長寿相談所共催)
- 年4回：南部ブロック社協会長、事務局長会議
- 毎月1回：市社協主催の学区社協会長会議
  - ◆ 4月
    - 9日:「登下校」あいさつ・見まもり活動開始
    - 15日:ふれあい給食サービス活動(8月を除いた毎月第3日曜日に実施)
    - 18日:H28年度 会計監査
  - ◆ 5月
    - 11日:南小課外授業(福祉)「高齢者疑似体験教室」
    - 20日:南郷学区5団体総会
    - 25日:南小課外授業(福祉)「子ども安全教室」
  - ◆ 6月
    - 1日:夏まつり実行委員会/自治連合会来い鯉!夏まつり実行委員会
- 30日:福祉関係者合同研修会
  - ◆ 7月
    - 1日:びわ湖市民清掃
    - 23日:「寺子屋プロジェクト」活動開始(今年は中止)
    - 29日:「来い鯉南郷夏まつり」「ふれあい福祉バザー」
  - ◆ 8月
    - 11日:南郷学区防災訓練
    - 25日:市社協/無縁仏法要(屋外法要は中止)
  - ◆ 9月
    - 17日:敬老の日記念「座ってできるイキイキピクス」
    - 17日(祝):敬老の日(各自自治会)
    - 27日:南小「びわ湖の環境とよし/よし笛体験教室」
  - ◆ 10月
    - 1日:「赤い羽根」学区内共同募金活動
    - 7日:「元気なんGO!スポーツフェスティバル」「ふれあい健康相談」
    - 20日:学区内福祉施設草刈清掃ボランティア活動
  - ◆ 11月
    - 9日:市・市社協主催“大津市社会福祉大会”
    - 10日:南小運動会(PTA秋のつどい)は中止
    - 11日:学区文化祭「ふれあい福祉バザー」
    - 18日:自治連南郷学区創立35周年記念式典
    - 27日:歳末たすけあい運動学区内配分委員会
  - ◆ 12月
    - 5日:学区社協理事会
    - 12日:福祉委員視察研修会
    - 中旬:H30歳末たすけあい学区内配分一対応
    - 中旬:広報誌「ななせ」104・105合併号発行(以後3月まで計2回発行/年間)
    - 25日:南小「冬休み書初め教室」/寺子屋プロジェクト
- ◆ 1月 (H31年)
  - 下旬:南小課外授業「盲導犬」
- ◆ 2月
  - 上旬:南小課外授業「手話」
  - 中旬:南部ブロック社協福祉委員研修会「地域福祉講座」
  - 下旬:介護のつどい
- ◆ 3月
  - 3日:石山/晴嵐/南郷3学区遺族会 & 社協3学区合同「石山忠魂碑前清掃&慰霊法要」
  - 中旬:広報誌「ななせ106号」発行(予定は変更する場合があります)

高齢化率「年々1%増」時代 32.94%  
学区発足35周年。

節目は、「成熟するまちの営み」に向きあう先生。  
(平成30年度活動目標)

☆基板力を求めて

- ・情報を共有してこそ、地域はイキイキする
- ・ふだんの活動の見直しが、あしたにつながる

☆ふれあい力を広げて

またひとつ、時の贈り物一節目は地域の宝、共感のチカラ  
高齢化するほど求められる居場所づくり

- ・ふれあい福祉バザー、ふれあい健康相談、敬老の日のつどい
- 「イキイキ・ピクス」、ふれあい給食サービス活動、介護のつどい

☆ささえあい力を生かして

「福祉体験授業」「寺子屋プロジェクト」「見守り活動」支援  
いつまでも住み続けたいーそんな「まち」を

☆各種「研修会」で知っ得力を高めます





5月20日、南郷市民センターで開催されました。承認されました議題の中から、29年度会計決算報告・30年度会計予算の要約、30年度役員と福祉委員を報告します。

[決算及び予算]

(単位:千円)

収入の部

	H30年予算	H29年決算	主な内容(予算)
前年度繰越金	142	282	
自治連助成金	270	270	
募 金	400	396	歳末助け合い募金
市社協助成金	889	869	ふれあい給食(317) 育成費・基盤強化費(372) まちづくり講座(50) 寺子屋プロジェクト(100) 戦没者追悼(19) 他
市 補 助 金	180	180	敬老祝金
事 業 収 入	70	104	ふれあい福祉バザー売上
寄 付 金	0	10	
雑 収 入	1	1	
繰 入 金	700	200	基金より
合 計	2,652	2,312	

支出の部

会議費&事務費	140	168	会議費経費、事務用品費、コピー代 他
事 業 費	997	978	・活動費(250):バザー/寺子屋プロジェクト/福祉のつどい 他 ・調査啓発費(100):ななせ発行費 ・研修費(30):福祉関係者研修費 ・ふれあい給食費(317) ・敬老費(300)/敬老活動助成金/敬老のつどい 他
募 金	400	396	歳末助け合い:福祉施設助成/在宅療養者 他
助 成 金	160	245	老く連/学区民会議/健推協/地域助成の会/子指連/民児協 子育て教室/遺族会
負 担 金	337	349	市社協/南部ブロック社協 他
補 助 金	500	0	学区創立35周年記念事業
諸 費	50	34	
予 備 費	68	0	
次 年 度 繰 越	-	142	
合 計	2,652	2,312	

☆平成29年度末積立基金残高 9,100千円

平成30年度役員・福祉委員

◇役員

会長	橋本 紀宣 第二G
副会長	吉川 功 千 町
副会長	山川 純子 赤尾 町
副会長	原田 純子 外畑 町
福祉部長	上原 博一 赤尾 町
庶務	梶 昌子 第二G
広報	濱中 喜祥 赤尾 町
広 計	堀井佐登司 千 町
会 務	福田 忠則 南郷GH
事務局長	福田 利明 南郷GH
監 事	上田 利明 南郷GH
監 事	中村 博 晴嵐台
顧問	藤田 昭一 南郷GH
相談役	中田 松瑛 晴嵐台

◇福祉委員 (〇印:委員長)

【千町】8名	堀井 保宏 服部 博司
	密田 光茂 鳥本 正一
	西野 大樹 服部 茂樹
	水津 秀美 服部 利幸
【第2グリーンハイツ】8名	沢村 順子 酒居 守雄
	池永 直毅 中村 京子
	岩本 尚樹 河村 尚志
	澤田 雄一 山之内 晴子
【晴嵐台】3名	懸樋 正彰 中西 万三
	村井 藤一

【赤尾町】8名

〇三宅 智巳 小野 富子
内田 恵造 陰地 恭子
石田 高司 山田 公一
田淵 督章 濱上 洋

【南郷グリーンハイツ】3名

〇藪内日出子 後藤 純子
井上 康二

【南郷町】4名

〇細見 利嗣 石原 通明
西村 幹夫 青山 久氏

【ベルテ】1名

〇岩見 良介
--------

【リオ】2名

〇村瀬 朝子 福井 彰代
--------------

【岡の平】2名

〇三戸 理 山下 立子
-------------

【石山外畑町】1名

〇原田 寿人
--------

【石山内畑町】1名

〇平尾 保隆
--------

(福祉委員計41名:順不同・敬称略)





# ふれあい伝言板

## ひと



### 平成30年度 福祉関係者合同研修会

福祉委員をはじめ今年福祉関係の役に就かれた方々に集まっていただき、年度初めの研修会が6月30日南郷市民センターで開催されました。大津市社会福祉協議会の葛城朋子様をお招きし「ひとにつながる36℃の言葉」をテーマに急速に進む高齢化の道を歩み続ける「成熟するまち」と向き合うことの大切さ、どんな困りごとがあるのか、実際に身近で起こっている事例を交えて、お話いただきました。

○参加者41名



### 南郷小学校福祉体験授業 高齢者疑似体験教室5月11日 (四年生対象)

#### 南郷小学校環境授業

9月27日 五年生対象。  
琵琶湖と葦(よし)を題材に環境問題のお話とよし笛演奏をしていただきました。皆さん熱心にお話を聞き、質問も沢山出していました。  
赤尾町在住 濱中ご夫妻



### 「寺子屋プロジェクト事業」

今年も7月23日から8月31日まで計9回、延べ31教室で開講予定でしたが、残念ながら今年は連日の猛暑により、熱中症対策のため中止が決定。  
昨年の寺子屋風景です。



## まち



### 自治連南郷学区創立35周年

南郷学区自治連合会が今年で創立35周年を迎え、11月18日、記念式典が沢山の地域の方々との参加の下、盛大に執り行われました。功労者表彰、越前市長の講演や、南郷保育園の園児、南郷小学校・南郷中学校の生徒の演奏、両洋高校の演奏などで華を添えてくれました。



## 暮らし

### おひとり暮らしの高齢者に ふれあい給食サービス活動

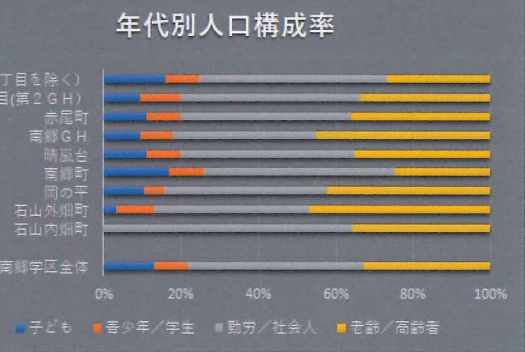
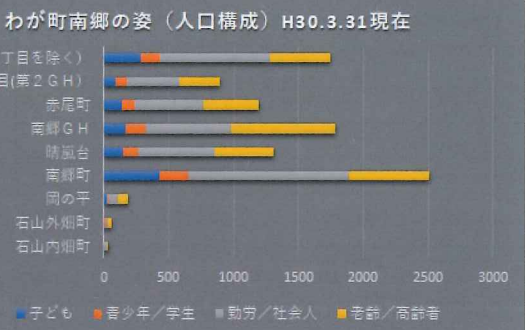
8月を除く毎月の第3日曜日は「ふれあい給食」活動の日です。75歳以上の高齢の方を対象に今年度は71人の登録をいただきました。健康協の皆さまのご協力で心あたたまる手作り弁当を作っていました。民児協の皆さまの手を経て一人暮らしの高齢者宅へ届けています。



民児協、健康協、社協との共同活動

当学区社協では福祉活動の充実、強化のための財源確保として、皆様の新生活運動(葬祭)行事その他を簡素化し節約された経費で福祉事業を推進へのご協力ならびに善意のご寄付をお願いしております。「つながっていく明日へ、笑顔が見える町づくりへ」、その町づくりへの皆様のご協力、ご支援よろしく願います。なお3千円を適用下限額として寄付金控除の対象となります。

※ご寄付の窓口  
南郷学区社会福祉協議会



南郷学区人口 9,706人(全) H30.3.31 現在  
4,688人(男) 5,018人(女)

ふれあい福祉バザー

第20回ふれあい福祉バザー

11月18日(日) 15:00-17:00

会場: 南郷学区市民センター

主催: 南郷学区夏まつり実行委員会

先生ボランティアさん募集

南郷学区社会福祉協議会/寺子屋プロジェクト事業

募集要項: 1. 性別: 男性・女性可 2. 年齢: 20歳以上 3. 学歴: 高校卒業以上 4. 勤務: 勤務先が南郷学区内 5. 志望: 南郷学区の発展に貢献したい

お問い合わせ: 南郷学区社会福祉協議会 電話: 075-522-0344

多数の出品、ご応募をありがとうございました。